

化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同 触媒化学・化学工学分科会
第 24 期・第 3 回会議議事録

■日 時：2018 年 9 月 13 日（木）10:00～12:00

■会 場：日本学術会議 6 階 6-A(2)会議室

■出席者：（敬称略）

阿尻・所・北川・岩澤・後藤・辰巳・辻・都留・藤岡（沙）・藤岡（恵）・藤田・宮崎・関根・野田（スカイプ）

■欠席者：（敬称略）

工藤・安保・井藤・大河内・近藤・椿・平尾・三浦

■配布資料：資料 1-1 前回議事要旨（案）

資料 1-2 前回議事メモ（案）

資料 2 11/27 公開シンポジウムポスター

資料 3 SDGs シンポジウム企画書

資料 4 CHON 元素の循環

資料 5 触媒化学・化学工学分科会紹介

■議 題

1. 前回議事要旨（案）の確認について

分科会開催後 2 週間を目途に、分野別委員会のサイト (<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/bunya/kagaku/giji-syokubai.html>) に議事録を掲載することとなり、前回議事要旨は既に掲載済である。今後、速やかな WEB 掲載を進めるために、議事要旨の最終的な確認を委員長に一任することが承認された。

2. 11 月開催の公開シンポジウムについて

藤岡恵子委員から、資料 2 に基づき 11/27 開催の公開シンポジウム「次世代エネルギー社会の超低炭素化に向けた課題とチャレンジー温室効果ガス 80%削減のフィージビリティとリアリティについて考える(2)ー」の説明があった。これについて、意見交換を行った。講師およびパネリスト、挨拶、司会などプログラム内容は承認。ただし、パネルディスカッションの時間が少し短いため、より議論を深めるために、20 分程度延長することとした。藤岡恵子委員が、時間などを修正したポスターを事務局に再送付し、差し替えてもらう。また、シンポジウムの内容を「学術の動向」の記事に纏める方向で検討することとなった。

3. 次のシンポジウム企画案について

- 1) 岩澤委員から、日本化学連合シンポジウム「国連決議：持続可能社会（SDGs）をめざす化学技術の課題」の紹介があった。政府、大学、企業がそれぞれの立場での SDGs への取り組みを紹介いただく貴重な機会とのこと。残念ながら、前述の公開シンポジウムと同日開催であった。
- 2) 関根委員から、工藤委員と共に企画している次のシンポジウムの案として、「CHON 元素の循環と利用」の説明があり、これについて意見交換を行った。今後のスケジュールとしては、11/27 のシンポジウムの午前中に開催される第 4 回分科会までに提案書を作成して概要を承認、12 月末までに提案書を完成させて事務局に提出、1 月の幹事会で承認、という流れで進める予定。シンポジウムの開催日程の候補は 4/12(金), 15(月), 22(月), 26(金) の 4 日とし、学術会議の講堂を仮予約した。最終的な日程は、講師の都合と併せて決定する予定。

4. 意思の表出にむけての議論について

提言を目指して本分科会で議論を進めていくが、その際、骨子を作りそれを全体で議論していく必要がある。まずは、議論するテーマをいくつか挙げて、各委員がそれを選択してグループに分かれ、議論を進めていくこととした。挙げられたテーマは、下記の 6 つ。追加したいテーマがあれば幹事まで連絡。

- ・ 未来の化学産業
- ・ 物質循環（資源効率）
- ・ CO2 排出削減
- ・ 技術開発の新たな手法（社会実装）
- ・ 未来のエネルギー
- ・ SDGs のための化学

5. その他について

- ・ 北川幹事から、学術会議 HP 充実のために各分科会の紹介記事の執筆依頼があり、9 月 15 日が締め切りとの説明があった。資料 5 の原案に対し、意見交換を行った。野田委員が修正案を北川幹事宛てにメールで送付、それを踏まえて修正を行い、阿尻委員長が確認した後に提出することで承認。
- ・ 次回の第 4 回分科会は、11/27(火)の午前中、午後はシンポジウムと意見交換会を予定。
- ・ 第 5 回分科会の日程も決まっており、化学委員会の全体会と併せて 12 月 27 日に開催予定。

以上